

献呈の辞

平川亮一先生は、二〇〇四年三月三十一日をもって名城大学を定年退職されました。

平川先生は、九州大学、同大学院をご卒業及び修了後、福岡県職員、三重短期大学講師、岐阜歯科大学助教を経て、一九八五年四月に名城大学法学部に教授として赴任されました。

以来、十九年間にわたり、本学で教育と研究にご活躍なされました。学外では、三重県地方労働委員会公益委員、三重県地方最低賃金審議会公益委員、愛知県地方最低賃金審議会公益委員を兼任されました。また、これらの功績が認められ、一九九四年には労働大臣表彰を授与され、また二〇〇二年には勳四等旭日小綬賞を授賞されました。研究では、著書、学術論文、判例評釈等を多数発表され、学界に貢献されています。

また、教育に対する情熱は一級のもので私達教員仲間においても範とすべきものでした。

平川先生のご退職に際しまして、先生のご業績をたたえ、心からの感謝の意をこめて、ここに本論文集をささげる次第であります。

平成十六年十一月

名城大学法学会長 山本忠弘